

昭和57年度役員総会 終る

～P85Cの誕生・若い力を結集～

昭和57年度の役員総会が4月25日午後2時より県青少年会館にて開催された。

鶴谷副理事長の開会のことばに続き、会長代理として星野理事長が挨拶を行った。次いで議長として竹内常任理事が選出され議事に入った。

56年度事業報告が川村常任理事からあった。第35回全国レクリエーション大会・第17回関東甲信越サイクリングラリー埼玉県大会が無事終了したこと、JCA委託事業の実施について報告があった。

56年度決算報告、57年度収支予算案につき築比地常任理事からの報告に続き、57年度事業計画案が渡邊副理事長から報告がなされた。57年度の重点目標として協会創立30周年に向けて伸展策を企画・推進するため委員会の設置を行う、協会30周年記念委員会とプロジェクト85委員会(P85C)である。

P85Cについては、後で詳細を説明する。他に委託事業の消化参加行事、会議関係、特別事業(ファミリーサイクリング)等について説明があった。

議事も順調に進み、杉山副理事長の閉会のことばをもって、午後4時終了した。

なお総会に先だち1・2級リーダー登録更新証交付、JCA指導者認定書伝達委嘱、JCA指導者登録更新伝達、35回全国レクリエーション大会感謝状伝達式が行われた。

Project 85 C (Project 85 Committee) 活動始まる

この委員会は、2月2日の常任委員会で設置が承認され、前年度内に基本構想をまとめ新年度からスタートすることになっていた。

30周年は1986年、その1年前にはすべてを完了することを目標に8+5=13(名)のメンバー構成なるが故に命名された。

委員長 渡邊廣次

委員 ○竹内栄次, 保泉 孝
(総務部)

○築比地秀夫, 小川光男
日比谷達夫
(指導・育成部)

○藤本吉則, 新井理幸
谷 嘉章, 樋口孝雄
(サイクルラリー部)

○川村雄豊, 千葉 治
加藤 譲, 岸 良平
(サイクルスポーツ部)

○は部長

メンバー構成は以上の通りです。

本年度の主たる計画として、表彰制度の実施、会報(SOCAニュース)の発行、サイクリングガイドの改訂サイクリング案内図の設置等があげられた。

部会の目標として、指導育成部会(GPSM)はSCLC会報の発行

リーダー検定講習会、各種講習・研修会の開催、支部連絡網の確立。

サイクルラリー部会(CRSM)は支部担当制の各種ラリーの開催、ツールドさいたまの新企画。

サイクルスポーツ部会(CSSM)は各種サイクルスポーツの研修と大会の開催などが計画されている。

今年度企画が予定されているものとして

※ファミリーサイクリング埼玉県大会の協力 5月23日 秋ヶ瀬公園

※1.2級リーダー検定講習会
6月中旬 会場未定

※救急法短期講習会
6月27日 青少年会館

※サイクルオリエンテーリング講習会
7月18日 会場未定

※第4回クラブラリー
8月14~15日 会場未定
主管; 県西支部 キャンプ形式

※サイクルバッチテスト
9月上旬 会場未定

※第24回SCAラリー
10月下旬 会場未定
主管; 県北支部

※初詣サイクリング
1月1日 会場未定
主管; 県西支部

※サイクルスポーツ講習・大会
2月27日, 3月27日

と盛りだくさんの事業が計画されている。今後の活動を見守りたい。

⊗ファミリーサイクリング ●●⊗
●●● 埼玉県大会 開催⊗

自転車月間の行事として計画されているファミリーサイクリング埼玉県大会が5月23日(雨天の場合ほ30日)秋ヶ瀬公園にて開催される。

すでに300名程の参加申し込みがありました。いっそうの協力をお願いいたします。

午前8時30～ 受付

9時30～10時 式典

10時～ いろいろの催しもの
が行われます。

◎サイクリング(荒川サイクリング
コース 約30Km)

◎ハーフセンチュリーラン(荒川サ
イクリングコース 約80Km)

◎サイクルゲーム

◎自転車安全教室

県内・外の行事予定

57年度の参加行事関係は次の通りです。

1.全国サイクリングラリー

7/24～25 宮崎

2.関東甲信越サイクリングラリー

9/11～12 栃木

3.中央指導者講習会・研修会

1月or2月

4.JCAリーダー講習検定会

5.サイクルスポーツ全国大会

6.バイロロジー全国大会

7.自然公園大会

8.全国レクリエーション大会

9.埼玉県レクリエーション大会

10.青少年のつどい埼玉県大会

11.埼玉県青年洋上大学

12.総理府・埼玉県青年海外派遣

4月20日現在の予定です。

行事等が決まりしだいニュース
でお知らせします。

S C L C

総会報告

去る4月15日青少年会館において、SCLC(埼玉県サイクリング協会リーダーズクラブ)の57年度総会が開催された。

参加者16名であった。56年度事業報告、決算報告、57年度新役員、支部連絡係の選出が行なわれました。

代表幹事 加藤 譲

会 計 矢作知久

監 査 伊藤育功

支部連絡係 北 黒瀬正治 小川光男
西 谷 嘉章
東 日比谷達夫
南 菅原啓司
浦和 樋口孝雄

SCLCの今後の活躍を期待したい。

第7回女性サイクリストのつどい

5月15日～16日開催された女性サイクリストのつどい千葉県大会に8名が参加した。

温宿の中央公民館に午後2時集合開会式の後、月のさばくを見学してから実走に入る。

千葉にはめずらしいアップダウンのあるコースで、宿舎の大原サイクリングセンターまで海岸のサイクリングを楽しんだ。

夕食交歓会ではプレゼント交換後自己紹介があり、楽しい一時を過ごした。

翌日は5時に起床、早朝サイクリングにつづいて、付近の名所旧跡をたずね正午に閉会式、来年の東京での再会を約束して散会した。

<コーヒーブレイク>

ワイルダムという言葉ご存知かな近ごろ某社が発表した自転車用品のブランド名である。

いよいよサイクリングファッションの大衆化時代を向えたようだ。

今まで自転車のファッションはあまり実用的でなかった。そういう意味でも今回の自転車を中心に考えられた用具ファッションは評価するのに値することであろう。

「自転車豆知識」

自転車の発明者は誰か？について明言できる人は少ないでしょう。

自転車の発明者を決めるには、自転車そのものがどんな形式になった時にそれを自転車の完成と認めるかということをはっきりさせなければなりません。

そのことが、世界中でまだ完全な形で定義されていません。

それでは自転車はどんなふうに発展してきたのかを次回から順を追ってお話ししましょう。

次回をおたのしみに!!

<協会より>

指導委員会は5月25日 6:30からです。

※SCAニュース第1号をお届けします。まだ不慣れなので読みにくいと思いますが、がまんして下さい。

皆様のご意見、ご投稿を歓迎いたします。